

オルガンの散歩 その17 2008年 3月25日 (火)

Antonio de Cabezon (1510~1566) アントニオ デ カベソン

Romance V "Para quien crie yo cabellos" 誰のために髪を長くしたのか

(epinette italienne, orgue 松本陽、大政葉月)

Alessandro Piccinini (1566~c.1638) ピッチニーニ

Toccata 24, Corrente 10 Intavolatura di Livto et Chitarrone, Libro primo (1623) トッ
カータ 24番、コレンテ 10番

Giovanni Paolo Cima (c.1570~1630) Sonata a 2 チーマ ソナタ

Dietrich Buxtehude(c.1637~1707) Toccata manualiter Buxwv164 ブクステフーデ
トッカータ

Georg Bohm (1661~1733) ゲオルク・ベーム

Partita 1,2,4,6,7 Ach wie nichtig, ach wie fluchtig ああ、いかにはかなく、いかに空しき

Wilhelm Friedemann Bach (1710~1784) W.F.Bach フリーデマン・バッハ ブーレ

G.F. Telemann(1681~1767) Fantasie (36Fantasies) テレマン ファンタジー

Jacques Boyvin (c.1649~1706) ボワヴァン

Premier livre d'orgue, Suite de troisieme ton オルガン曲集第1巻、第3旋法の組曲よ
り

Recit de cromorne Dessus de tiers en vitesses et accords

Antoine Dornel (ca1680~1765) ドルネル

Sonate a violon seul II La Forcroy ソナタ ラ・フォルクレ

Francois Couperin(1668-1733) F. クーブラン

Deuxieme Verset (Quatre Versets d'um motet 1703) 2番目のヴェルセ 1703年
の4つのモテットより

soprano 山崎千恵 violon 山野辺暁彦 basse de viole 赤塚健太郎 "liuto attior-
bato" (テオルボ化したリュート)/ theorbe 永井保成

epinette italienne 松本陽 clavecin italien 川勝さちこ orgues 大政葉月、加藤麻衣子

(6時30分ごろ)

program

第1部

Angelo Notari (1566~1663) ノターリ

Canzon e Passaggiata (for solo treble instrument and basso continuo)

G.F.Handel (1685～1759) ヘンデル

Allegro in c minor HWV408 アレグロ ハ短調

violon 岡林鮎美 orgue 川勝さちこ

Luigi Battiferri (?～?) バティフェッリ

Recercare a 4 Recercari a 4, 5, 6 (1669) 4声のリチェルカーレ

clavichorde 三重野清顕

Diego Ortiz (c.1525～c.1570) オルティス

Recercada segunda レセルカーダ2番

Marin Marais (1656～1728) マレ

Rondeau le Bijou 4e livre de pieces de viole ロンド ル・ビジュ

basse de viole 渡辺敏晴

~~~~~

Thomas Morley (1557～1602) almain トーマス・モーリー アルマン

clavecin italien 伊藤一人

Jan pieterszoon Sweelink (1652～1621) イギリスの定め

clavecin italien 酒井絵美子

John Bull(1563?～1628) Dr. Bull's juell ジョン・ブル ブル博士の宝石

Thomas Tomkins (1572～1656) Fancy トーマス・トムキンス ファンシー

clavecin italien 伊藤一人/岡田龍之介

(c.1570～1630)ニコラス・カールトン ヴァース

clavecin italien 酒井絵美子/平野麗子

Lodovico Grossi da Viadana (c.1560～1627) La bergamasca ヴィアダーナ ラベルガ

マスカ

clavecin italien/epinette italienne 伊藤一人、岡田龍之介

Lodovico Grossi da Viadana La fiorentina ヴィアダーナ フィオレンティーナ

clavecin italien/epinette italienne 平野麗子、岡田龍之介

Lodovico Grossi da Viadana La mantovana ヴィアダーナ マントヴァーナ

clavecin italien/epinette italienne 酒井絵美子、岡田龍之介

Giovanni Batista Fontana (?～c.1630) Sonata n.3 フォンターナ ソナタ第3番

flute a bec 国枝俊太郎、clavecin italien 岡田龍之介

~~~~ 休憩 ~~~~

天使の時間

千の風になって イギリスオリジナルバージョン

オカリナ 日暮英里佳、ギター 日暮 健

千の風になって Clavichorde 松本陽 (松本陽バージョン)

ハイドン ソナタ第3番よりスケルツォ Epinette italienne 酒井良美

(7時50分ごろ)

第2部

グリーンスリーブス イギリス民謡

ロンドンデリーの歌 アイルランド民謡

soprano 高橋美千子、clavecin 吉見伊予

Girolamo Cavazzoni (?~?) カヴァツォーニ

Recercar Terzo libro primo 1543 リチェルカーレ3番

orgue 藤原一弘

Taquinio Merula(1594~1595) Sonata II メールラ ソナタ2番

Dario Castello (~) Sonata II カステッロ ソナタ2番

Giovanni Batista Fontana (1589?~1630) Sonata II フォンターナ ソナタ2番

Salomone Rossi (c.1570~c.1630) S. ロッシ

Sonata XII sopra la Bergamasca ベルガマスカによるソナタ12番〈甘美に歌うあの小鳥は〉

soprano 山崎千恵 flute a bec 安藤由香 clavecin italien/ orgue 吉見伊予

Georg Muffat (1653~1704) ムファット

Passacaglia パッサカリア

Johann Sebastian Bach (1685~1750) J.S. バッハ

Nun freut euch, lieben Christen g'mein BWV 734 今ぞ喜べ、愛するキリスト者の仲間達よ

orgue 浅尾直子

Heinrich Schutz (1585~1672) シュッツ

Kleine geistliche Konzerte 〈小宗教コンチェルト集〉より

Wer will uns scheiden von der Liebe Gottes SWV 330 神の愛から分かつのは誰？

Siehe, mein Fürsprecher SWV304 見よ、わたしの弁護者は

Jubilate Deo SWV 332 主を歓呼せよ

Geistliche Chormusik 1648 〈宗教合唱曲集1648年〉より

Ich weiss, dass mein Erlöser lebt SWV393

我知る、我が贖い主の生くるを

アンサンブル 〈ムシカ・ポエティカ〉

今村ゆかり、柴田圭子、淡野弓子、影山照子、依田卓、山田明生、淡野太郎、石塚正

orgue 岡田龍之介

i strumenti a tastiere

Clavicembalo italiano Vincentius Pratensis 17th century? 1950年代および
2000年に英国で修復、

また、2006年には木村雅雄によって、よりオリジナルに近い状態に修復

(well-tempered)

Spinetta italiana "Queen Elizabeth Virginal" London, 16th century Italy 2007 松尾
淳／山野辺暁彦 (well-tempered)

Clavichordo legato 18th century German 2000 山野辺暁彦 (well-
tempered)

Chest organ 2003 Selway Robson Cape, South Africa 足踏みによるフイゴ操作
で風を送ります。(well-tempered)

Chamber organ "Julia" 1997 Selway Robson Cape, South Africa 足踏みによるフイ
ゴ操作で風を送ります。(mean-tone)

プロフィール

酒井良美 epinette italienne 小学校2年生です。 ピアノをはじめてから6月で
3年になります。 わたしの好きなことは、なわとびと読書です。 すきなじゅぎょう
は生活科で、好きな食べものはいちごと、おすしです。 しょうらのゆめは、お花やさ
んか、かんごしさんです。

日暮英里佳オカリナ市立小学校5年。趣味 イラストを描く事 ☆一家でロビーコ
ンサートなどに出演しています。

日暮健 ギター担当の父です。

松本陽 epinette italienne, clavichorde 9歳です。4歳よりピアノを始めました。鍵盤を弾くことも好きですが、特に耳で聞いた曲を再現するのが好きで、毎日楽しく弾いています。

大政葉月 orgue 5歳よりピアノを始め、学校のオルガン講座をきっかけに、13歳よりオルガンを始め、浅尾直子先生に師事。現在は佐藤礼子先生に師事。高校1年生です。

~~~~ アンサンブル〈ムシカ・ポエティカ〉 ~~~~

全員がハインリヒ・シュッツ合唱団・東京の歌手や指揮者として音楽活動を共にしている。また、それぞれがソリスト、ソロアンサンブルの主要メンバーとして国内外で活動中。

今村ゆかり soprano

横浜国立大学、同大学院修了（音楽専攻）。シュッツ合唱団ソプラノ

柴田 圭子 soprano

武蔵野音楽大学声楽科卒業。シュッツ合唱団ソプラノ

淡野弓子 alto

東京藝術大学卒業後ヴェスファーレン教会音楽大学に学び帰国後の1968年、ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京を設立。1984年音楽グループ「ムシカ・ポエティカ〈音楽詩学〉」を組織。シュッツ作品の根幹をなす音楽修辞学を演奏の基礎に据えてルネサンスから現代作品までの解釈と演奏に従事。シュッツ合唱団アルト／指揮者。

影山照子 alto

シュッツ合唱団アルト

依田卓 alto/tenor

国立音楽大学教育学部卒業。シュッツ合唱団アルト／テノール

山田明生 tenor

シュッツ少年合唱団を経てシュッツ合唱団テノール／バリトン

淡野太郎 bariton

東京藝術大学卒業。ヴェスファーレン教会音楽大学を経て2004-2006年ライブツィヒ・ゲヴァントハウス室内合唱団メンバー。シュッツ合唱団テノール／バリトン／指揮者。

石塚正 bass

シュッツ合唱団創立（1968）以来のメンバー。 バス



岡田龍之介 clavecin

東京藝術大学卒業、同大学院修了。 洗足学園音楽大学、都留音楽祭講師

平野麗子 clavecin

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。 ピアノを中根伸也氏、鈴木明子氏、宇野周子氏に師事。 2001年より、チェンバロを岡田龍之介氏に師事し現在に至る。 これまでに、J-City Muserium Concert 2004 にてリコーダー奏者の国枝俊太郎氏とのアンサンブルおよびチェンバロ独奏、2005年6月、第3回フラワーコンサートにて、岡田龍之介氏との2台のチェンバロによる演奏を行うなど、演奏活動を重ねている。

伊藤一人 clavecin

千葉県習志野市出身。 立教大学社会学部社会学科卒業。 ピアノを加瀬直子氏に、チェンバロ、通奏低音を岡田龍之介氏に師事。 第7回古楽の森コンサート(2004)、J-City Muserium Concert 2005、東京オペラシアター「イドメネオ」公演(2005)に参加するなど、チェンバロ・ソロ及び通奏低音奏者として演奏活動を広げている。 「新潟かみふるまのバロック音楽会」にて岡田龍之介と共演。 現在、東京藝術大学大学院にてチェンバロを学んでいる。

酒井絵美子 clavecin

洗足学園高等学校音楽科を経て、同音楽大学ピアノ科卒業。ピアノを池谷淳子、富岡英子の両氏に師事。 在学中チェンバロに出会い、岡田龍之介氏に師事。 故小島芳子、A.プリヤエフ、N.パール、M.メイヤーソン、E.バイアーノの各氏のレッスンも受講する。 現在、チェンバロ及び通奏低音奏者として、講習会での伴奏、日本各地での演奏、ピアノ奏者として、様々なアンサンブルに参加するなど、意欲的に音楽活動を行っている。

国枝俊太郎 flute a bec

リコーダーを安井敬、フルート・トラヴェルソを中村忠の各氏に師事。 現在はバロック室内楽を中心に、リコーダーアンサンブルによるルネサンス～現代までの作品やギターとのアンサンブルによる19世紀のサロンピースの演奏、また最近は古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動している。



岡林鮎美 violon

大阪音楽大学短期大学部器楽専攻卒業。 ピアノ、チェンバロをダミアン・ハラダ氏に師事。 ヴァイオリンを田丸尚子、山名公子、室内楽を原田幸一郎の各氏に師事。 幼少よりバロック音楽に興味を持ち、大学卒業後バロック・ヴァイオリンを大津睦氏に師事。 バロックアンサンブルを大塚直哉氏に師事。 大阪府立北野高校オーケストラ部ヴァイオリン講師。 現代音楽集団アンサンブル・コンセプチュアルのメンバーを経て現在、ソロ、室内楽、オーケストラでモダン、古楽器ともに活動。 古楽アンサンブル「アンサンブル詩音」メンバー。

川勝さちこ *orgue*

神戸女学院大学音楽学部オルガン専攻。 在学中から、多くのコンサートにも出演。 また古楽に興味を持ち、アンサンブルにも積極的に挑戦している。 オルガンを大津寄多美子、井上圭子、鈴木雅明、チェンバロを井岡みほ、通奏低音を大塚直哉の各氏に師事。 現在、神戸女学院大学大学院修士課程在学中。 宝塚栄光教会オルガニスト。 日本オルガニスト協会会員。

赤塚健太郎 *basse de viole*

成城大学、神戸女学院大学、武蔵野音楽大学にて音楽史関連科目の講師を勤めつつ、ヴィオラ・ダ・ガンバの演奏にも取り組む。 目下の研究テーマは「1歳の娘の子守りをしながらガンバの練習をする方法」

高橋美千子 *soprano*

東京藝術大学卒。 卒業後、イタリアに4ヶ月留学。 帰国してからは「アンサンブル・プラネタ」のメンバーとして5年間活動した。 昨年8月にフランスでフレンチバロックの講習会を受け、終了コンサートに出演。 今年に入り、オペラ「オルフェオ」やイタリアバロックのソロコンサートを開くなど、活動の場を広げている。

藤原一弘 *orgue*

独協大学、立教大学大学院、テュービンゲン大学でドイツ語、キリスト教神学、音楽学を学ぶ。 洗足学園音楽大学他、非常勤講師。

浅尾直子 *orgue*

カトリック田園調布教会オルガニスト

渡辺敏晴 *bass de viole*

波瀾の学生時代、社会人を経て、ノルウエーにチェンバロで留学。 現在、ソリスト活動の他、古楽器アンサンブル「コキリコ社」を主宰して、洋の東西を超えた音楽活動を試みている。 群馬県高崎市在住。

#### 山崎千恵 soprano

国立音楽大学卒業。 東京藝術大学別科古楽科を修了。 主に、バロック～古典期の作品を中心にソロやアンサンブルの活動をしています。 ヘンデルフェスティバル・ジャパン声楽メンバー。 声楽アンサンブル"The Songsters"メンバー。

#### 安藤由香 flute a bec

東京藝術大学音楽学部古楽科卒業。 リコーダーを濱田芳道氏、山岡重治氏、バロックオーボエを三宮正満氏に師事。 様々な古楽器や合奏団を共演。 4月から読売・日本文化センター大森、金町、錦糸町のリコーダー講師として後進の指導にもあたる。

#### 吉見伊予 clavecin

東京藝術大学音楽学部チェンバロ科卒業。 同大学院修了。 チェンバロを橋本ひろ、鈴木雅明、広澤麻美の各氏に師事。 アンサンブルを鈴木秀美、若松夏美、山岡重治、小島芳子、野々下由香里の各氏に師事。

#### 三重野清顕 clavichorde

哲学を研究する傍ら、古い鍵盤楽器（チェンバロ、オルガン、クラヴィコード）に取り組んでいる。

#### 加藤麻衣子 orgue

アンサンブルをする機会を与えられている事、そして、音楽を通してたくさんの人に出会える事に心から感謝しています。

#### 永井保成 liuto attiorbato/ theorbe

どうしてもやってみたい気持ちが嵩じて、3年ほど前にリュートを習い始めました。 テオルボ等、大きなリュートで合奏すると、鍵盤楽器では味わえない魅力があります。 来週より、ドイツ、マインツ在住。

#### 山野辺暁彦 violon

私の場合は、合奏をしたくてヴァイオリンを弾いています。 幸い仲間にも恵まれ、やってみたい曲はいろいろと出来る様になりました。 合奏をしてみると、人の考えを



よく理解する事や、人に自分の考えや希望をなるべく正しく伝える事が大切であり、また、難しい事が、良く分かります。 クラヴィコードを製作。